
2017年3月期（平成29年3月期） 決算説明資料



2017年5月2日



本資料の如何なる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負うものではありません。

1

用語の説明

用語	内容
PWB (Printed Wiring Board)	プリント配線板
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト (レジストインキ)
PKG (Package)	半導体パッケージ

2

当社グループの製品分野

分野	分類		性状	用途
PWB用 絶縁材料	リジッド	高機能品	液状	表層保護・絶縁用 SR材料
		汎用品		
	PKG		液状 ／ドライフィルム	
	フレキ		液状 ／ドライフィルム	
	ビルドアップ		液状 ／ドライフィルム	
その他 関連商材	その他		液状	マーキング・エッチング・めっき用材料 フラックス・溶剤等・導電性銀ペースト

1

為替は想定レートと同水準

※（円・USD） 実勢レート：109円/想定レート：109円（2017年1月24日業績予想の修正）

2

通期の販売数量は前年同期と比べて微増

3

2015年9月北九州工場竣工により、コスト増加

4

管理機能の集約・移転に伴い、本社の土地・建物について将来遊休化する見込みがあるため、不動産鑑定評価額まで減損損失（1,019百万円）を計上

5

D I C 株式会社との資本業務提携を実施

会社が成長する仕組みづくり

会社が成長するために最も大切なのは 「自ら考え、行動できる自律型人材」 を育成すること



3つをバランスよく整え、
自律型人材が育ち、より強い会社

常識を超えた社員食堂



TAIYO CAFE

都内有名店のシェフを招き、地元食材にこだわった料理を提供

嵐山食堂

オーダーメイドの家具には地元の西川杉を使用し、くつろぎの空間に



創造力を刺激するオフィス



嵐山事業所

壁をなくし、明るく開放的な内装
部署間の交流もしやすい雰囲気

当社開発・製造の高反射ソルダレジストLEW3使用
オーダーリック社LED照明導入

和室会議室



❖ 書道家・矢部澄翔氏の作品展示



❖ 金工作家・家出隆浩氏の作品展示



小江戸川越から「伝統×革新」をテーマに世界へ書道を発信

嵐山町に工房をもち創作をしている
2016年には、紫綬褒章を授与

先端設備が整った研究施設

嵐山ラボラトリー

機能的かつ効率的に、研究開発
を行える拠点を実現！



豊かな自然環境で子育て

たいよう保育所

嵐山事業所併設「たいよう保育所」でライフスタイルに合った働き方が可能に

- 建材・家具は埼玉県の木材「西川材」を使用したオーダーメイド
- 社員の子ども以外に近隣の待機児童も受け入れている



7 職場環境の仕掛け ②

ユニークな教育研修制度

人材育成・研修



❖ 新入社員研修 @東北



❖ リーダー育成研修 @デンマーク

講演会の開催



様々な業界のリーダーを招き開催

2016年開催実績

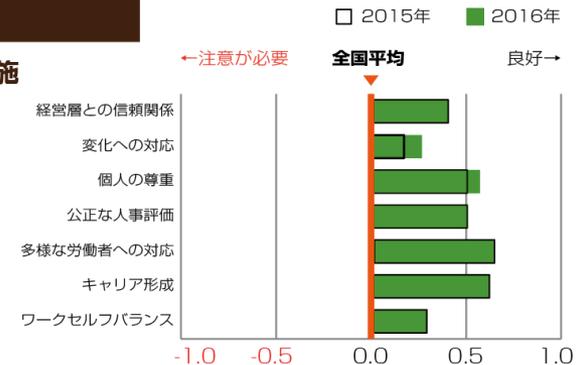
- シャネル(株) 代表取締役社長 リシャール・コラス氏
- 東大アジア生物資源環境研究センター 教授 高野哲夫氏
- 東大人文社会科学系研究科・哲学研究室 次世代人文学開発センター 教授 一ノ瀬正樹氏
- 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 福田信彦氏

ストレスチェック・定着率

ストレスチェック結果

義務化前の2012年より毎年実施

- 全国平均(0.0)に比べ、最高レベル
- 年々良化傾向継続



従業員定着率

直近3年間の新入社員定着率 **97.4%**

※2017年1月末の在籍人数 ÷ 2014年度～2016年度新卒入社人数

レクリエーション・同好会制度

社員それぞれの体験紹介

社員の親睦を深め、非日常を体験することを目的に年間 1 人 2 万円を支給

舞妓体験



浴衣で懐石



アスレチック



ラフティング



各種同好会

右記同好会に毎月補助金を支給

- ・野球部
- ・ゴルフ同好会
- ・余興部(行事で余興を行う部)
- ・フットサル同好会
- ・テニス同好会
- ・マラソン部
- ・英会話同好会
- ・軽音楽同好会

家族参加 社員旅行

年に 1 度、家族同伴の社員旅行を実施(家族分含む旅費・宿泊費は会社負担)

2015 年 金沢



2016 年 北九州



2013 年に社員旅行を復活。2016 年には過去最大規模となる
408 名が参加(※国内従業員数約 300 名)

地域活動への参加

地域イベント協賛

小川
和紙
マラソン



- ・小川町 / セタまつり・花火大会
- ・練り馬こぶしハーフマラソン
- ・埼玉県東松山市 / 日本スリーデーマーチ



地域イベント協賛

里山
作り



- ・稲刈り
- ・国蝶オオムラサキ観察会



「紺綬褒章」受賞

太陽光発電設備等の嵐山町への寄附

非常時対応用太陽光発電設備等の嵐山町への寄附が社会貢献として認められ、2016年日本国政府より紺綬褒章を受章。



地域の子供育成・ふれあい

地元嵐山町の小学校の工場見学・化学実験教室

2014年に新入社員が社会貢献の一案として化学実験教室を発案。以降入社一年目の社員が企画を担当・実施している。



嵐山町の小学校社会科副読本に当社工場が掲載されている

地元嵐山町の「嵐山まつり」に出店

嵐山町で年一回開催される「嵐山まつり」で化学実験教室を出店。理科の楽しさに触れる場を積極的に企画・提供。



アマチュアスポーツ選手支援

前田知沙樹選手のスポンサー

資金が潤沢ではないマイナースポーツ・アマチュアスポーツを支援。ユースオリンピック日本代表（スキージャンプ）前田知沙樹選手のスポンサーを務めています。



社員が誇りを持って働き、
化学の力で、世の中の為になるものを
生み出し続ける総合化学メーカーへ



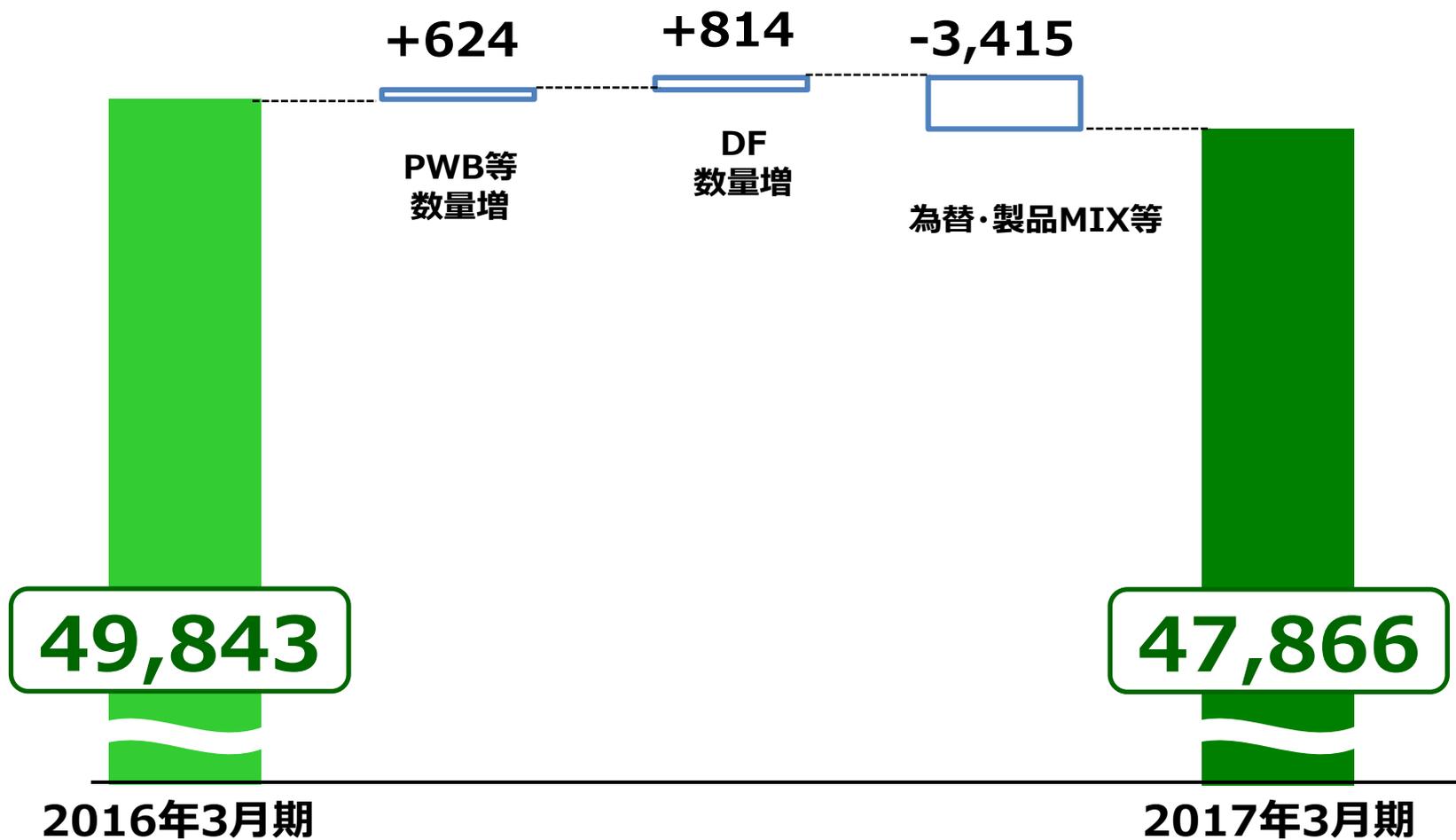
連結業績サマリ

単位：百万円

	2016年3月期 通期 実績	2017年3月期 通期 実績	前期比	増減率	2017年3月期 通期 業績予想	予実比	達成率
売上高	49,843	47,866	-1,977	-4%	47,000	+866	102%
営業利益	10,964	9,221	-1,743	-16%	9,000	+221	102%
経常利益	11,129	9,202	-1,927	-17%	9,200	+2	100%
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,796	6,398	-1,398	-18%	6,200	+198	103%
円・USDレート	120	109	-11	-9%	109	-	

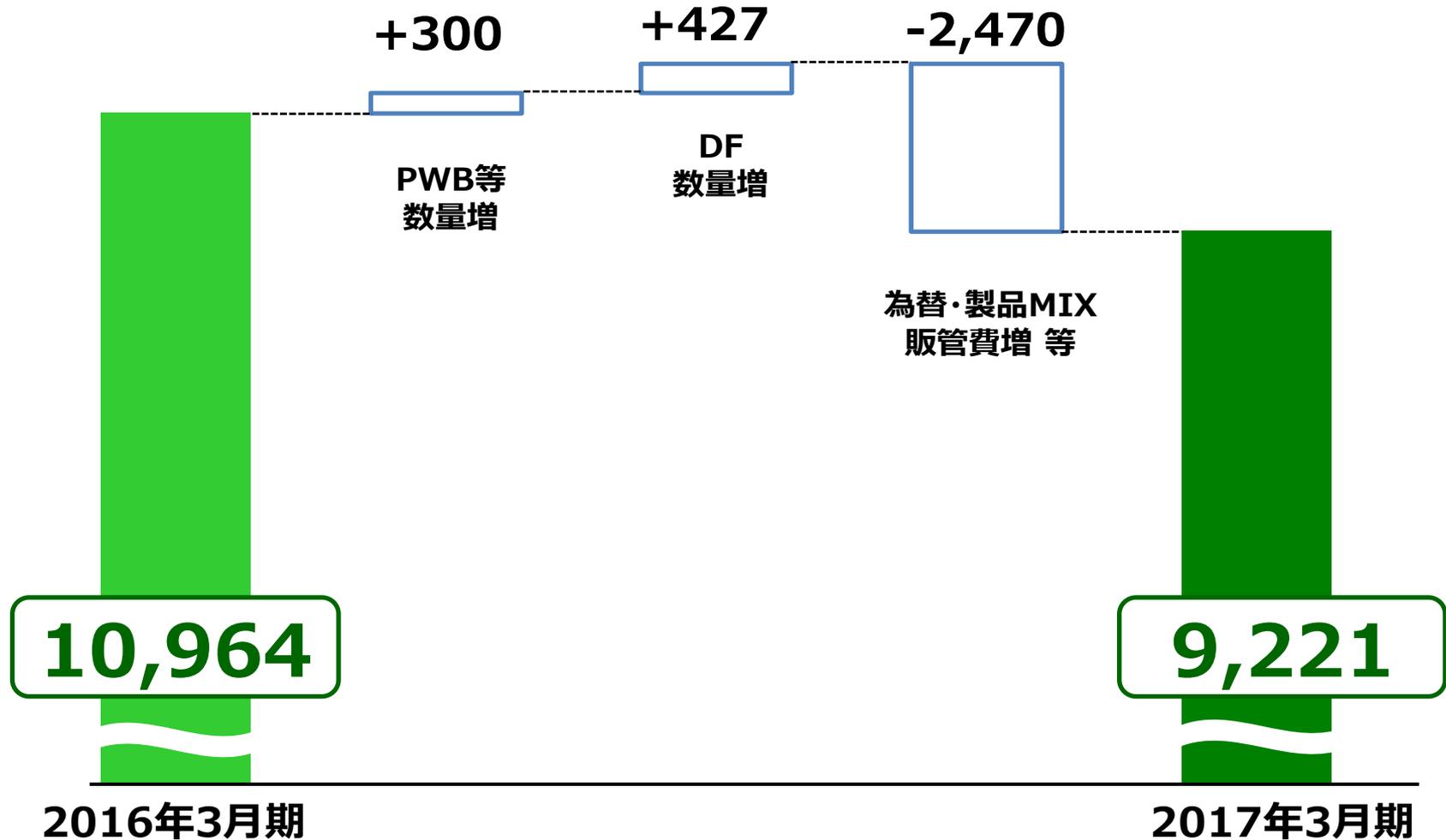
売上高前期比分析

単位：百万円



営業利益前期比分析

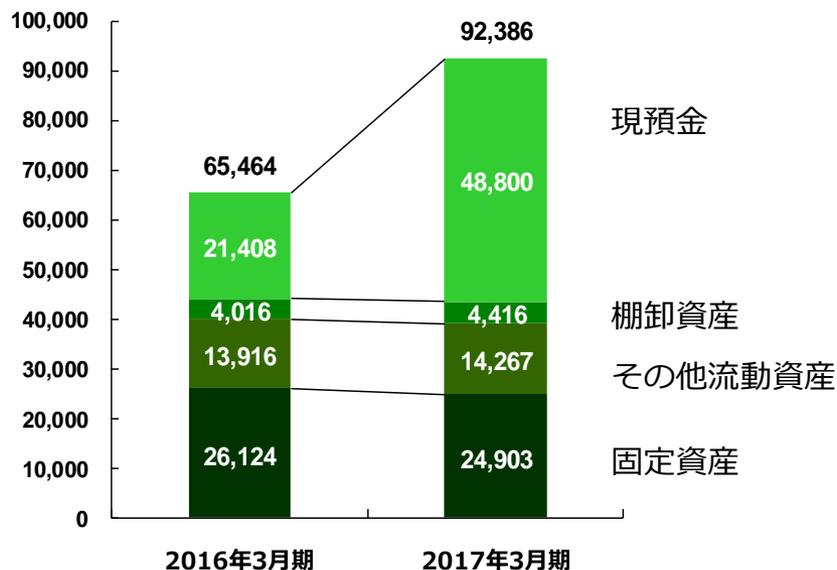
単位：百万円



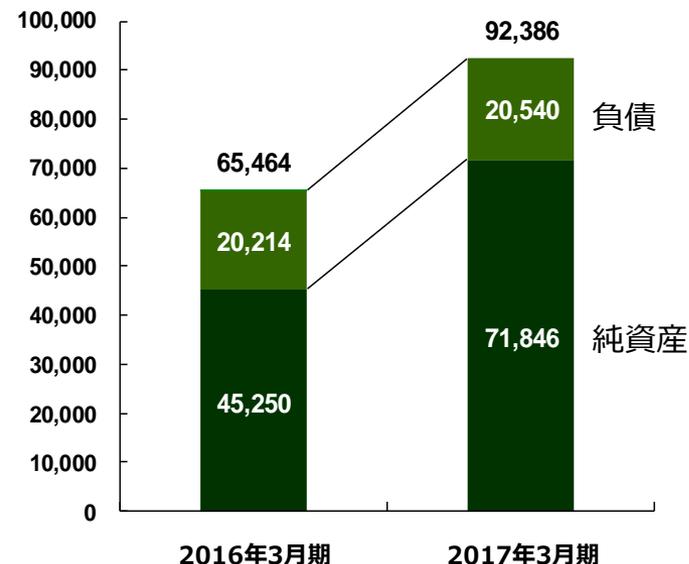
BS前期比較

単位：百万円

資産



負債・純資産



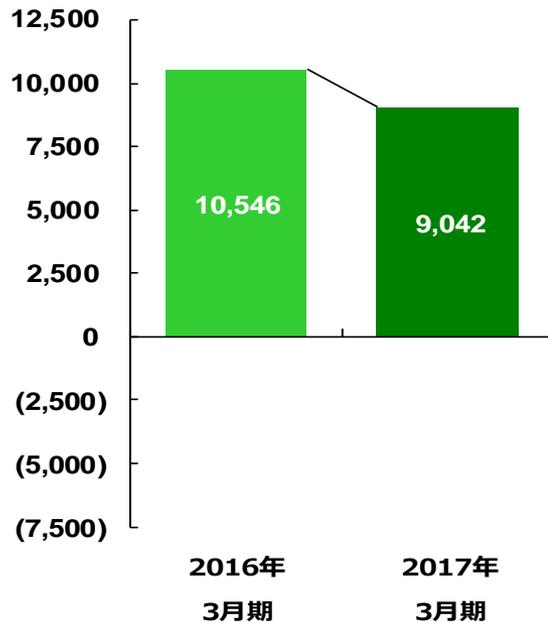
- ・ 自己株式の売却による現預金の増加
- ・ 本社の土地・建物の減損損失計上による固定資産の減少

- ・ 自己株式の売却による純資産の増加

CF前期比較

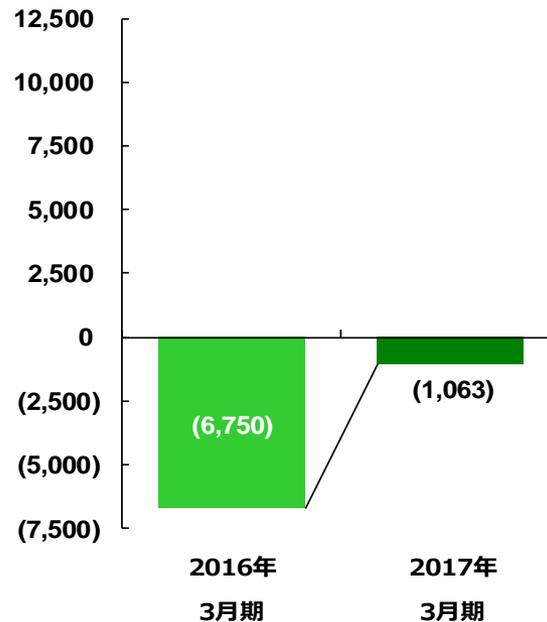
単位：百万円

営業CF



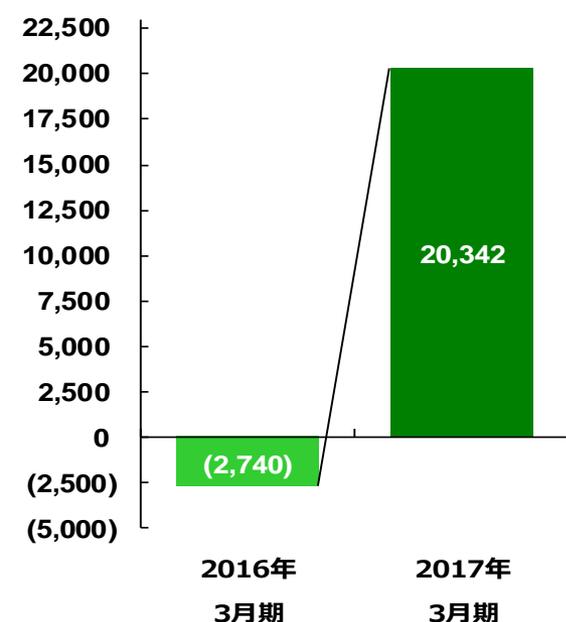
- ・ 税金等調整前当期純利益の減少

投資CF



- ・ 有形固定資産の取得による支出の減少

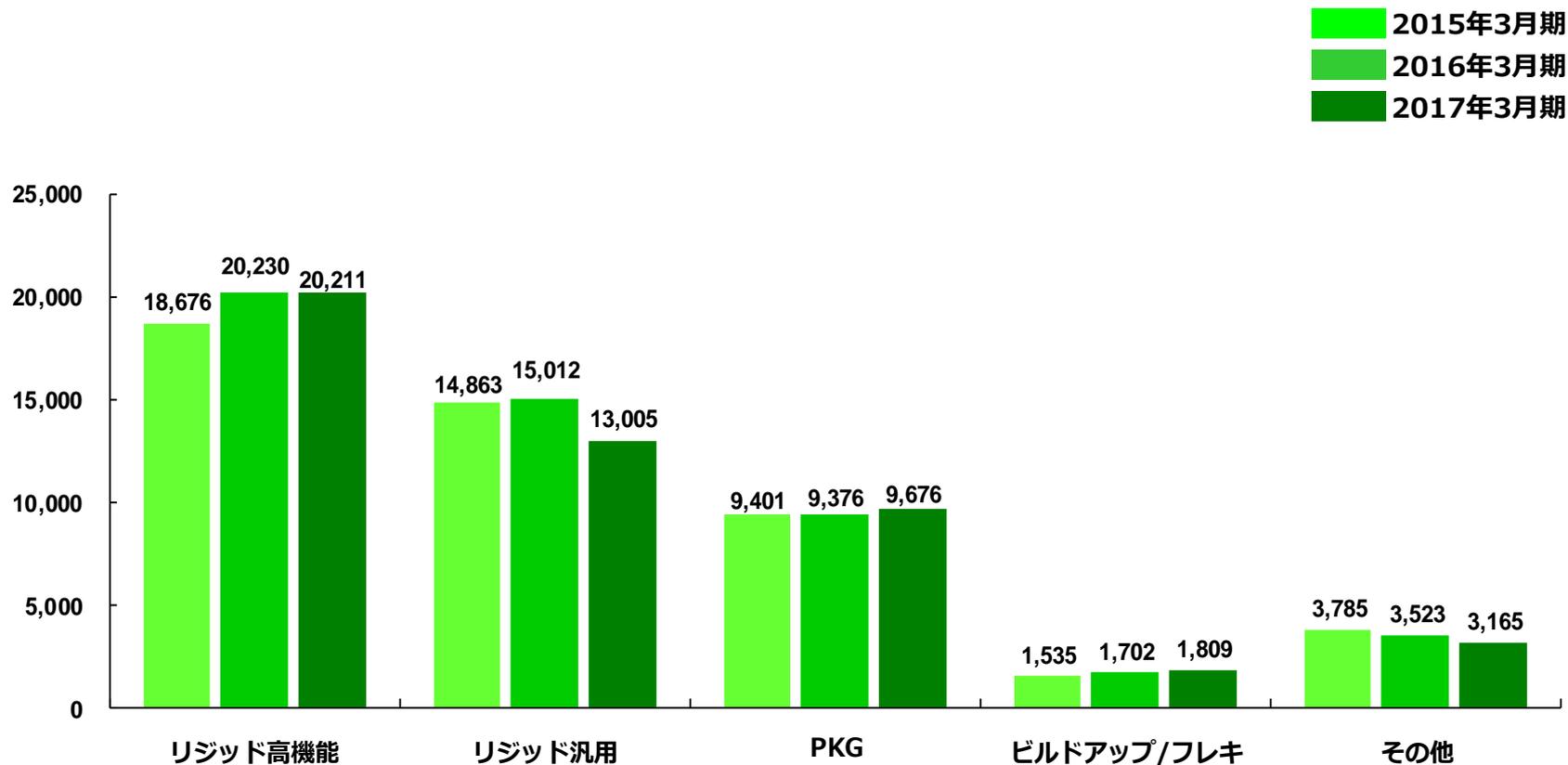
財務CF



- ・ 自己株式の売却による収入の増加

製品区分別売上高

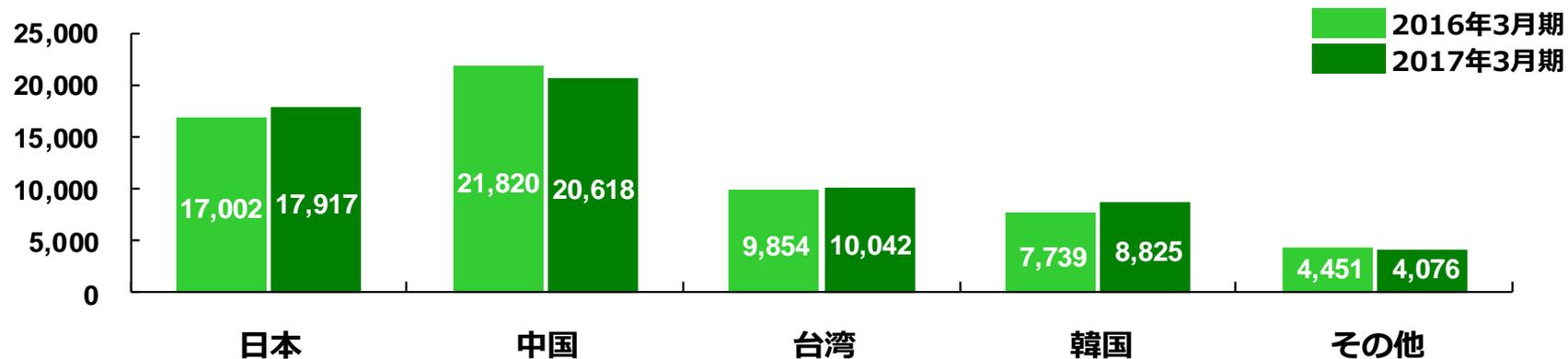
単位：百万円



※決算短信・有価証券報告書等に記載の「製商品品目別の販売実績」の分類と異なります。

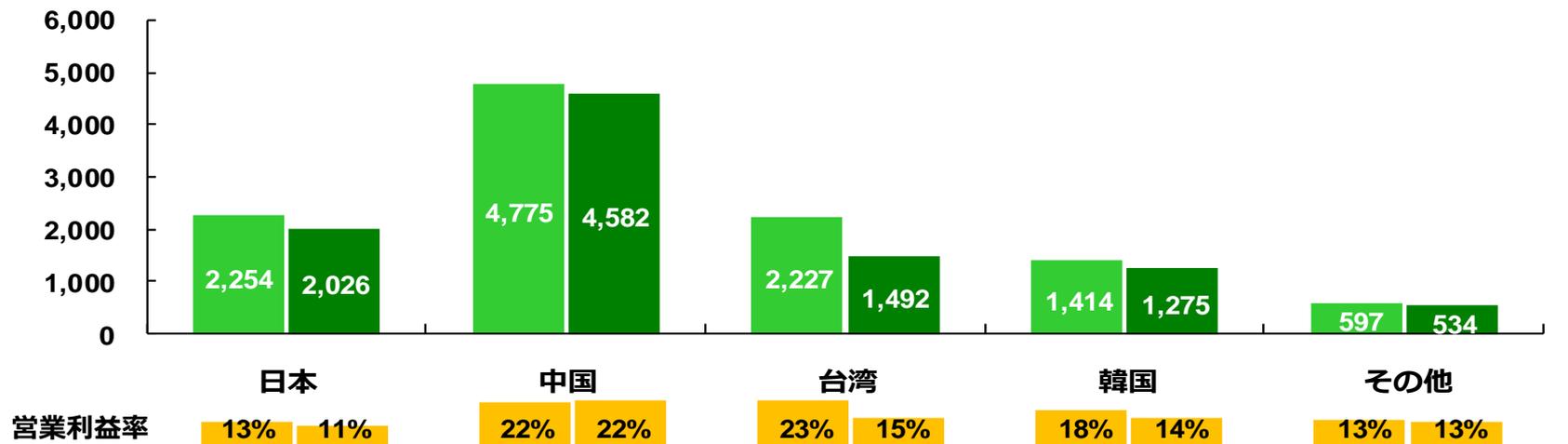
セグメント別：売上高 (グループ内売上含む)

単位：百万円



セグメント別：営業利益 (グループ内売上含む)

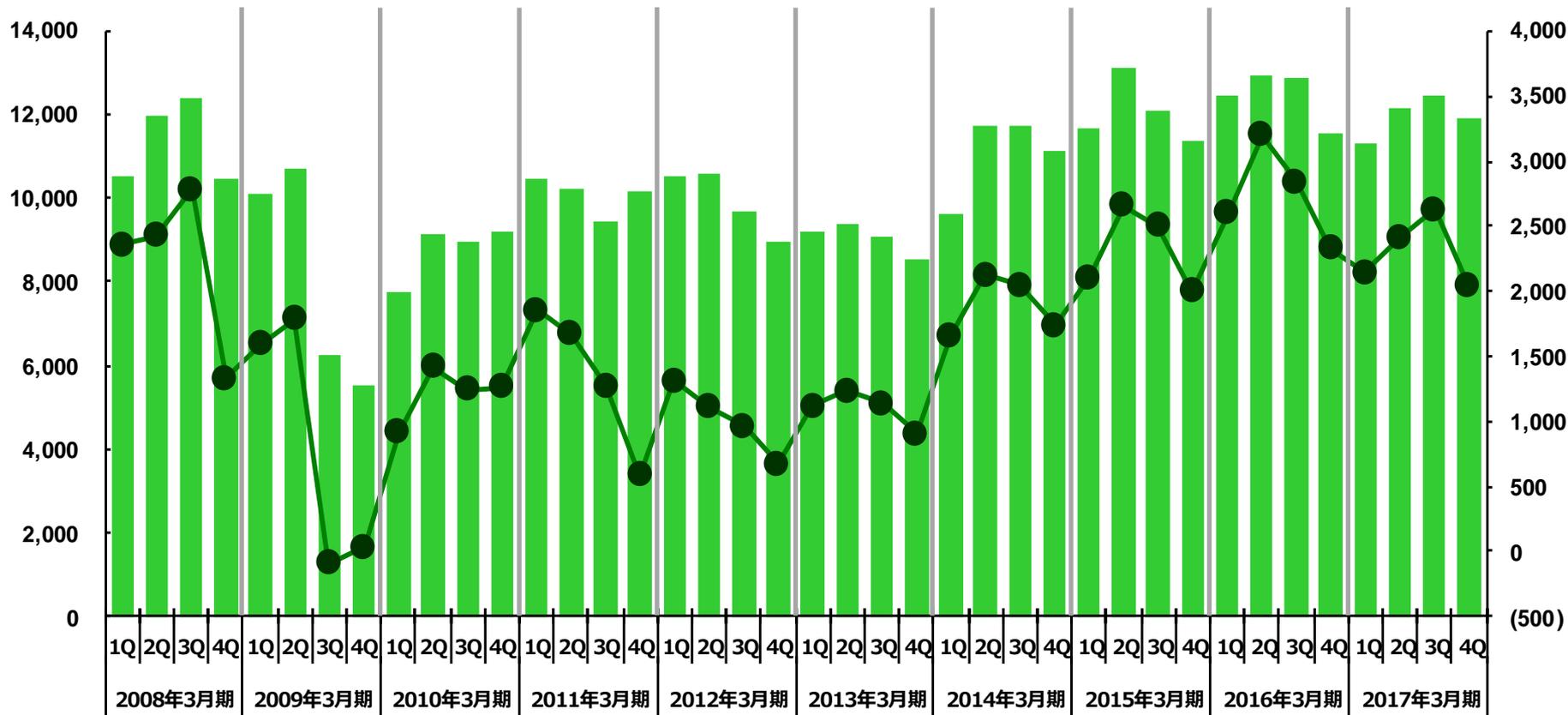
単位：百万円



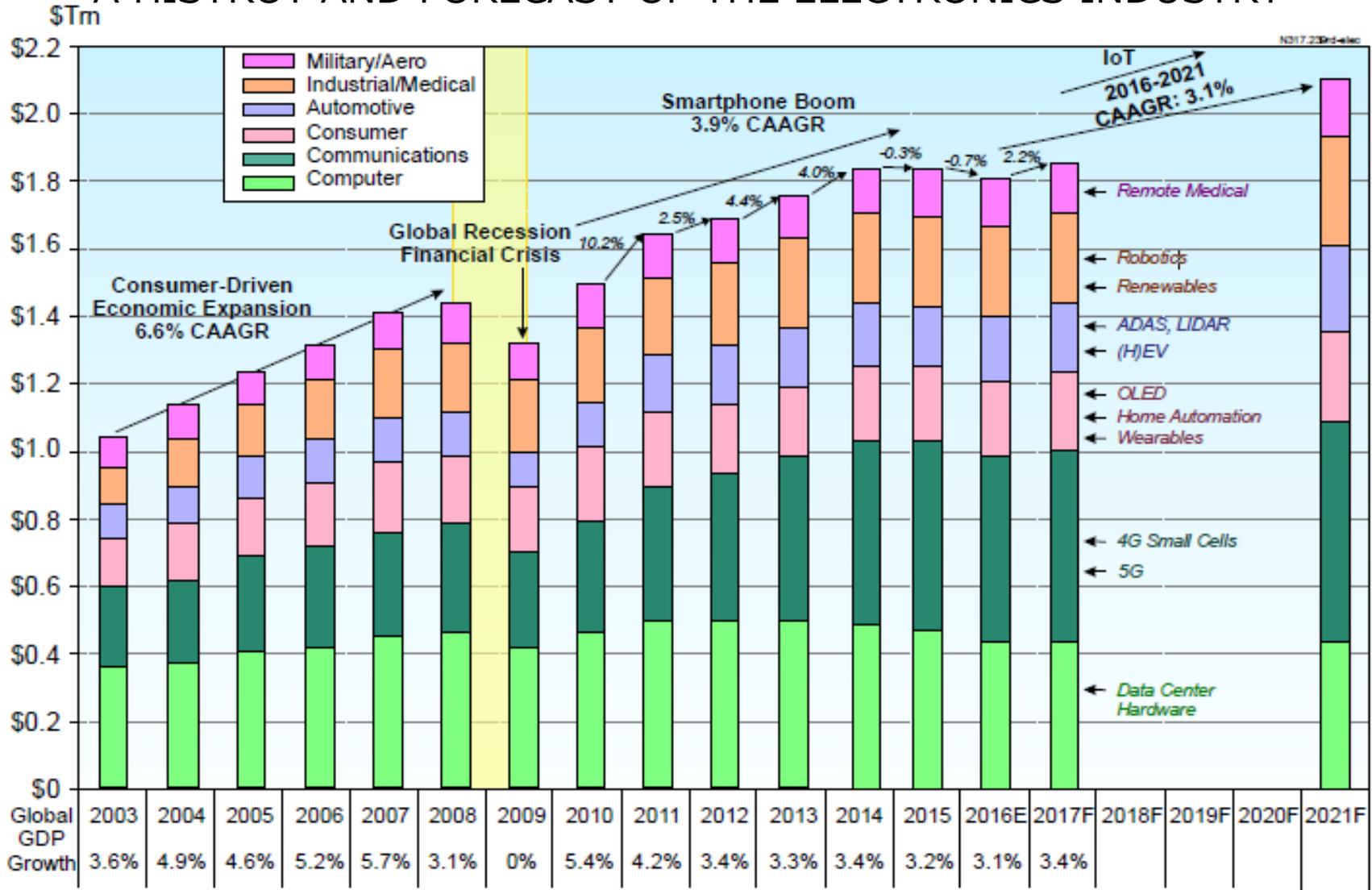
四半期別推移：売上高/営業利益

単位：百万円

■ 売上高（左軸）
● 営業利益（右軸）



A HISTROY AND FORECAST OF THE ELECTRONICS INDUSTRY



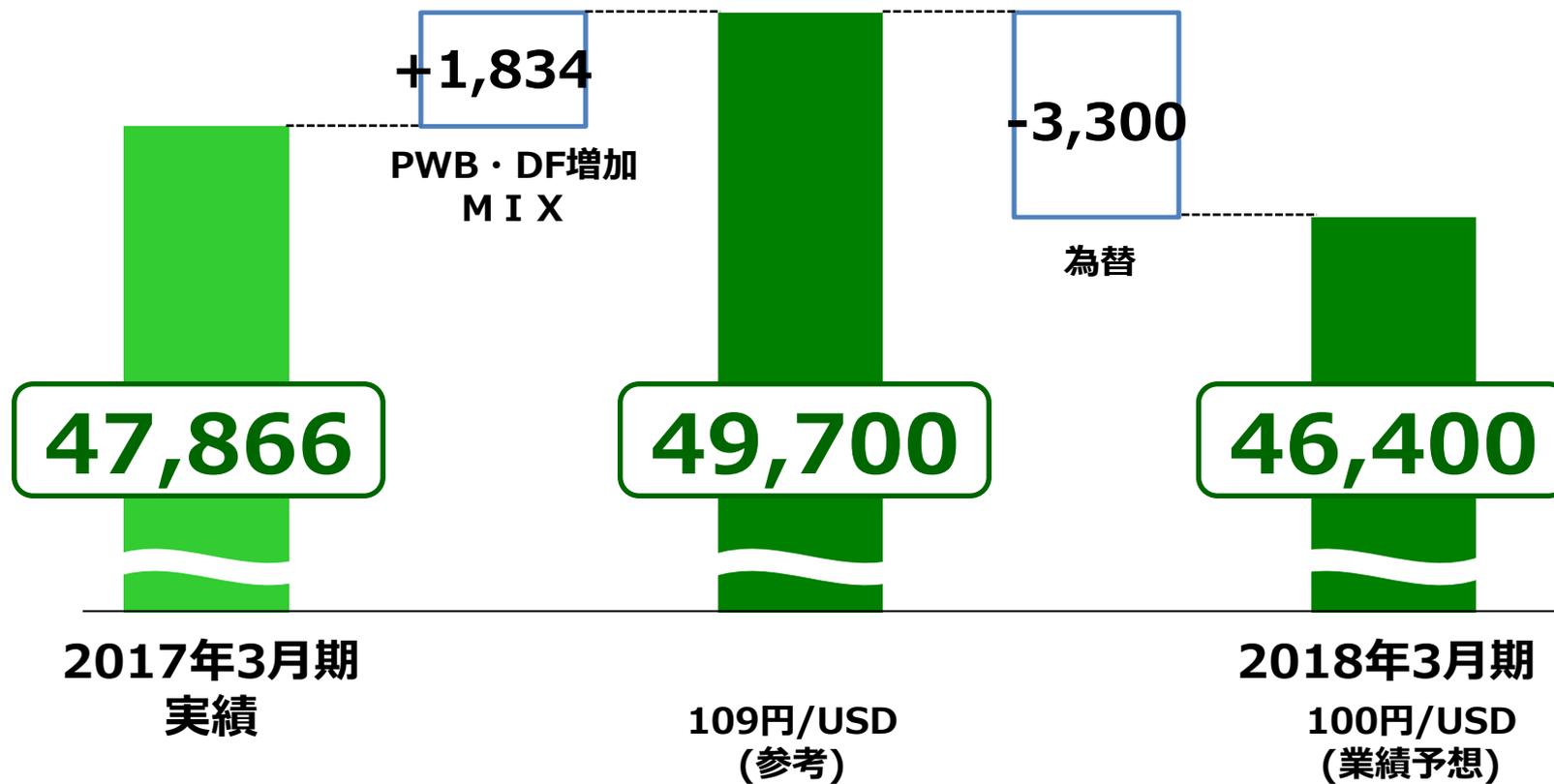
連結業績予想

単位：百万円

	2017年3月期 通期 実績	2018年3月期 通期 参考	前期比	増減率	2018年3月期 通期 業績予想	前期比	増減率
売上高	47,866	49,700	+1,834	+4%	46,400	-1,466	-3%
営業利益	9,221	9,700	+479	+5%	8,100	-1,121	-12%
経常利益	9,202	9,600	+398	+4%	8,000	-1,202	-13%
特別利益	575	-	-	-	-	-	-
特別損失	1,021	-	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,398	6,700	+302	+5%	5,600	-798	-12%
円・USDレート	109	109			100		

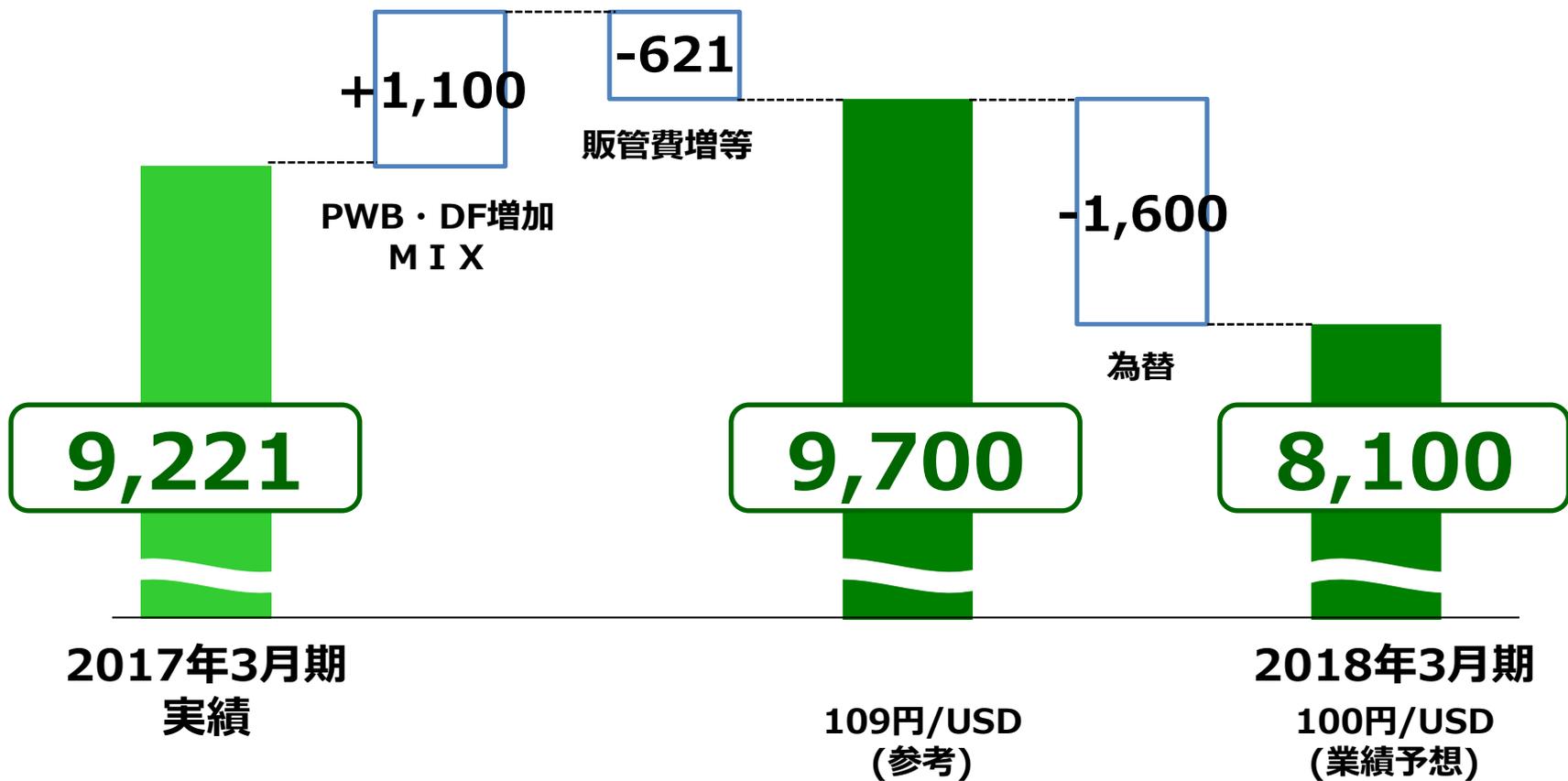
売上高予想

単位：百万円



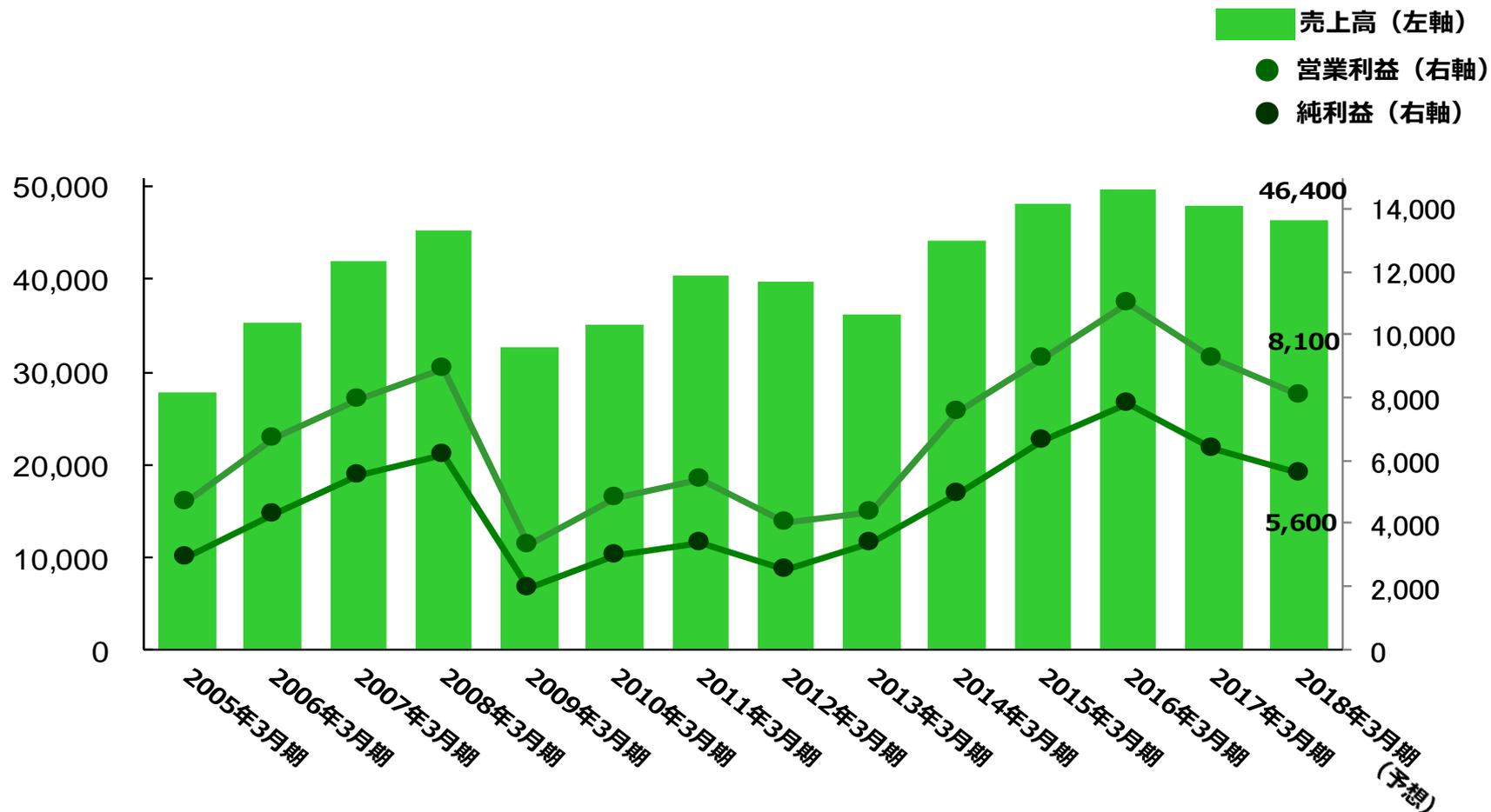
営業利益予想

単位：百万円



連結業績推移

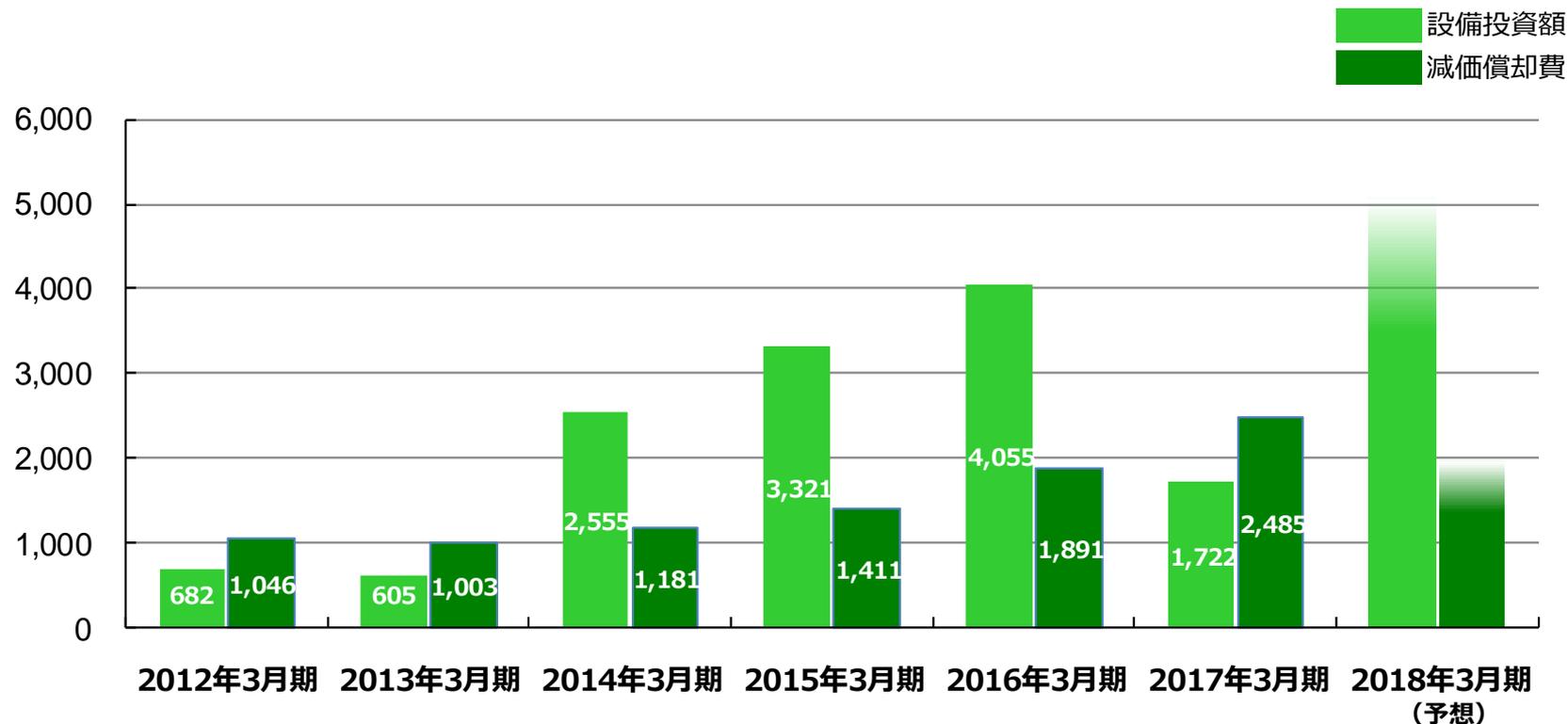
単位：百万円



2018年3月期は、車載関連部材や高機能なスマートフォン関連部材の販売数量は堅調に推移するものと見込んでいるが、円高の進行により業績に影響が生じると予測

年度別推移：設備投資額/減価償却費

単位：百万円



2017年3月期は北九州工場への設備投資が一段落したが、引き続き既存ビジネスの強化や新しいビジネスの創出に向けた設備投資を行う

D I Cとの資本業務提携について

会社概要

商号	DIC株式会社
本社	東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル
創業	1908年2月15日（明治41年）
資本金	966億円
従業員数	連結 20,481名 単体 3,510名（2016年12月31日現在）
関係会社	174社（2016年12月31日現在）
売上高	7,514億円（2016年12月期）
営業利益	542億円（2016年12月期）

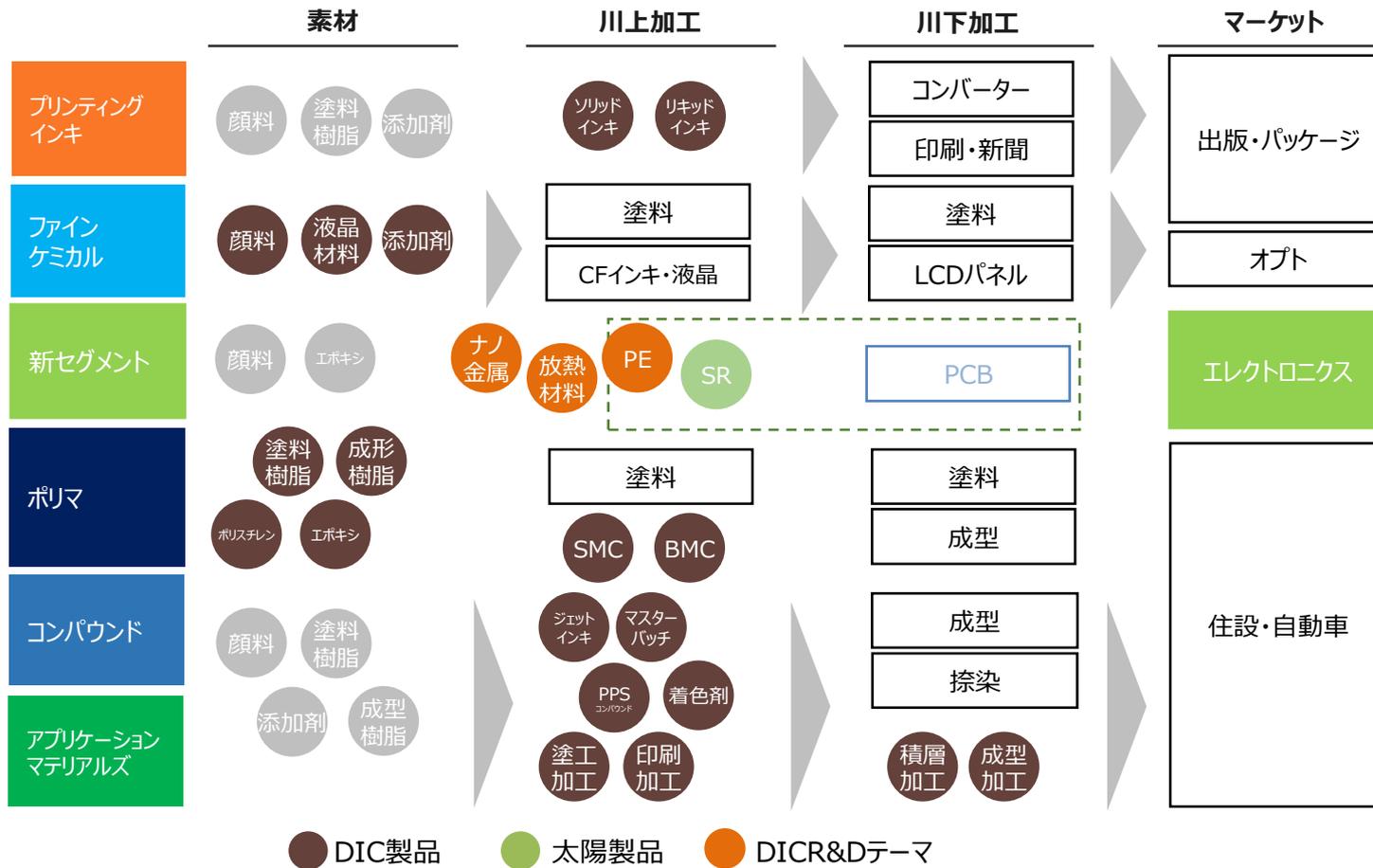


< 売上高 >



< 営業利益 >

両社の事業ポートフォリオ



業務提携概要

当社及びD I Cが保有する技術を駆使した、MID（成形回路部品）等新しいプリント配線板用部材の共同開発

D I Cの高い樹脂開発技術、顔料分散技術を活用することによるプリンタブル方式の配線板材料の共同開発

D I Cが検討中のエレクトロニクス市場向け製品に関する新規事業について、当社の保有する業界への太いパイプや評価技術を活用することによる、市場ニーズに適合した製品改良と迅速な立ち上げ

D I Cの海外工場へのSRの製造委託による製造コストの削減とD I C海外工場の稼働率向上

資本提携概要

(1) 株式の種類及び数	発行新株式	普通株式	1,312,600株
	処分自己株式	普通株式	4,304,700株
	合計株式数		5,617,300株
(2) 払込金額	1株につき 金4,428円		
(3) 払込金額の総額	約248億円		
(4) 増加する資本金	約 29億円		
(5) 増加する資本準備金	約 29億円		

1株あたりの払込金額について

決議日前日終値**4,920円**から**10.00%ディスカウント**である**4,428円**

※1ヶ月平均、3ヶ月平均、6ヶ月平均のいずれにおいても90%以上の価格であり、

日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠しており、有利発行に該当しない

持分法適用会社化

D I Cは、議決権ベースで19.5%保有し、当社はD I Cの持分法適用会社となる予定
また、D I Cから取締役1名を派遣予定（平成29年6月定時株主総会へ議案提出予定）

資金使途

内容	金額
台湾工場の建て替えと生産性革新（OTC台湾統合）	75億円
北九州事業所のドライフィルムライン増設	25億円
OTCの100%子会社化	25億円
IT基盤再構築	30億円
埼玉工場・韓国タイヨウでの生産性革新	10億円
既存事業の水平展開（M&A・研究開発）	約82億円
合計	約247億円



NEXT STAGE - 新たな展開へ -

明日の地球に出来ること
For Tomorrow